

(c) 韓国における廃棄物管理状況

韓国の廃棄物発生量の密度（廃棄物発生量（年）／国土面積）は世界一であり、処分用地確保が大きな問題となっている。しかしながら、韓国では伝統的に埋立処分が支持されており、韓国政府が減量目的の焼却処理を政策として打ち出しても、NP0 および地元の反対で焼却処理が進まないのが現状である。ちなみに、表 5.5-16 に韓国における廃棄物焼却処理状況を示した。韓国地方自治体が管轄する焼却施設は日本と同じく家庭廃棄物を処理対象としており、家庭廃棄物の焼却量を焼却能力で比較する。韓国の焼却能力は 2.7 トン／（日・万人）、日本の焼却能力は 14.6 トン／（日・万人）であり、韓国の埋め立て処分比率が高いことがわかる。

表 5.5-16 韓国における焼却処理施設（2005 年）

	焼却施設数	処理能力 (ton/hr) / (ton/day)	従業員数
総計	2,871	1,313／3,152	6,445
地方自治体	230	551／13,224	2,186
自己処理	2,576	404／9,696	3,079
処理事業者	65	358／8,592	1,180

（出展：U&P 調査結果）

一方、リサイクル比率は上昇傾向にあるが、廃棄物の絶対発生量が経済発展と共に増加し、可燃性一般廃棄物の埋立処分量は増加している。衛生埋立以上のレベルにある埋立処分場が 80%しか到達していないため、残り 20%がオープンダンピングであり、この 20%は汚染要因となる可能性を持っている。

韓国では、日本と異なり焼却処理が難しいため、ごみ従量制、ディスプレイ製品の使用抑制策、包装廃棄物の発生抑制策、生ゴミの直接埋立禁止、リサイクル商品の拡大策など発生抑制を廃棄物処理の基本としている。これら施策および新たな拡大生産者責任が 2003 年より実施され、この効果により、2005 年には廃棄物発生量の増加に歯止めがかかったと考えられている。

表 5.5-17 韓国における廃棄物発生量の推移

（トン／年）

	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年
総計	226,668	252,927	269,548	295,047	303,514	290,389
家庭廃棄物	46,438	48,499	49,902	50,736	50,007	48,398
産業廃棄物	101,453	95,505	99,505	98,891	105,018	112,419
建設廃棄物	78,777	108,520	120,141	145,420	148,489	129,572

（出展：U&P 調査結果）

生活系廃棄物は地方自治体が処理処分を行う義務をもっているが、事業場廃棄物は排出者が責任を持って処理することになっている。委託処理も可能であるが、この場合、委託先の処理能力を確認し、確認書類を地方自治体の長に提出する義務を持っている。業者が不法投棄を行なった場合、排出者が委託先の処理能力を確認していれば、排出者に責任は

ない。日本、中国の場合、全てにおいて排出者に責任があるが、この点は韓国独自の制度となっている。

管理廃棄物については、発生者が処理計画（移送、処理、処分）を作成し、環境省に提出し、処理結果について承認を得ることが義務付けられている。また、「管理廃棄物の処理証明制」が導入され、2002年9月から電子マニフェスト制度が運用されている。

電子マニフェストが適用されるのは、指定された減量化事業場、病院の場合入院患者100人以上の総合病院および感染性廃棄物を排出する事業場となっている。

韓国における感染性廃棄物発生量は総計59,056トン/年であり、全国35の施設で処理が行われている。処理方法は他の危険廃棄物と同様、高温焼却の後、埋め立てが原則となっている。

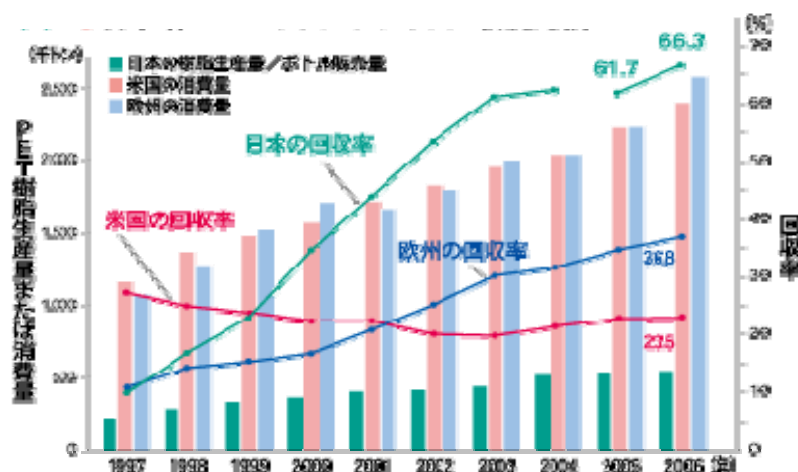
以上のような正規ルートによる処理が行われていれば、不法投棄は少ないはずであるが、韓国の医療系廃棄物処理実態に関する公開資料は少なく、今回の調査では実態は明らかにできていない。

5.5.3 製造元が判明した漂着ゴミに係る調査

(1) PET ボトル

a. わが国における PET ボトル製造量及びリサイクル率等

PET ボトルリサイクル推進協議会の資料によると、わが国の2006年度におけるPETボトル販売量は54.4万トンである。このうち市町村分別収集量と事業系ボトル回収量の合計となるPETボトル全回収量は36.1万トンであり、回収率は66.3%となっている。前年度の回収率61.7%に比べ回収率は増加傾向にある。欧米における回収率と比較しても、わが国の回収率は世界最高水準となっている。



(出所)
 米国＝NAPCOR 資料
 欧州＝PETCORE 資料
 日本＝PET ボトルリサイクル推進協議会資料
 (1997～2004 年度は旧回収率、2005～2006 年度は新回収率)

〔出典：「PET ボトルリサイクル年次報告書（2007 年度版）」、PET ボトルリサイクル推進協議会 HP <http://www.petbottle-rec.gr.jp/nenji/2007/index.html>〕

図 5.5-34 日米欧の PET ボトルリサイクル状況比較

(a) 海外における PET ボトルの製造関連情報

今回調査を実施した中で、比較的多く確認された韓国語表記の PET ボトルについて、現地コンサルタントに委託し、それらの製造関連情報の収集を行った。以下にその結果を報告する。

① 韓国

- ・ミネラルウォーター（名称：Soonsoo100）

韓国ではどこでも販売されている主要なブランドのミネラルウォーターである。特にこの写真のミネラルウォーターは、その水源が Damyang-gun, Chon-nam と記載されており、韓国の南部地域で販売されているものと判明した。

製造業者の名称は「Miso Beverage」（電話：82-61-381-5333）で工場は Damyang-gun, Jeollanam-do にある。販売エリアは Jella-do, Gyeongsang-do である（図 5.5-35）。年間の製造量は、年間に 6,000 万本であり、海外への輸出は行っていない。



図 5.5-35 Soonsoo100 の製造工場と販売エリア

・ミネラルウォーター（名称：Semsosuel）

このミネラルウォーターは、年間の製造販売量が 360 万本と中規模なメーカー（Semsosuel）により販売されている。工場は Miryang-si, Gyeongsangnam-do にあり、主に Milyang, Gyungnam 及びその周辺のエリアで販売されている（図 5.5-36）。なお、海外への輸出は行っていない。



図 5.5-36 Semsosuel の製造工場と販売エリア

・焼酎（名称：Yipsejoo）

Yipsejoo 焼酎は、Gwangju 及び Chonnam 地域で販売されているローカルな酒であり、その全販売量の 90%がこの 2 地域で売られている。製造工場は Jangseong-gun, Jeollanam-do にある（図 5.5-37）。

同社は、ガラス瓶とペットボトルの 2 種類を製造しているが、ペットボトルによる年間の製造販売量は 4,000 万本となっている。なお、日本を含め海外への輸出は行っていない。



図 5.5-37 Yipsejoo 焼酎の製造工場と販売エリア

b. 使い捨てライター

(a) わが国におけるライターの市場規模と輸入量等

横浜税関の統計資料によると、わが国における携帯用ライターの市場規模は表 5.5-18 に示すとおり、年間約 6 億個でほぼ安定している。その内、プラスチック製で価格の安い使い捨てのもの、いわゆる「100 円ライター」が 90%以上のシェアを占めている。

国内で使われている使い捨てライター（H17 年で 5.7 億個）の内、70%以上（H17 で約 4.5 億個）が海外から輸入されたものである。

平成 7 年以降の国別輸入数量の推移をみると、中国からの輸入が大幅に増加しているのに対し、フィリピンからの輸入が減少している（図 5.5-38）。平成 17 年では中国製が国内市場の 81.1%と大きなシェアを占めている。

表 5.5-18 わが国における携帯用ライターの市場規模

	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
国内市場合計	585,862	568,727	581,178	588,160	624,879	593,628	620,344	626,146	581,193	592,023	607,478
使い捨て	556,240	540,837	554,679	560,131	594,480	557,124	575,375	586,939	546,464	561,754	572,713
輸入数量	285,513	279,464	293,319	291,444	314,911	322,424	372,378	396,200	401,773	420,624	455,551
国内生産量	321,851	325,071	312,263	322,634	311,998	258,527	244,076	202,573	185,267	180,213	153,590
輸出数量	51,124	63,698	50,903	53,947	32,429	23,827	41,079	11,834	40,576	39,083	36,428
その他	29,622	27,890	26,499	28,029	30,399	36,504	44,969	39,207	34,729	30,269	34,765

注) 「国内市場合計」には「輸出数量」を含まない。

(出典：使い捨てライターの輸入、横浜税関、平成 18 年 10 月 26 日)

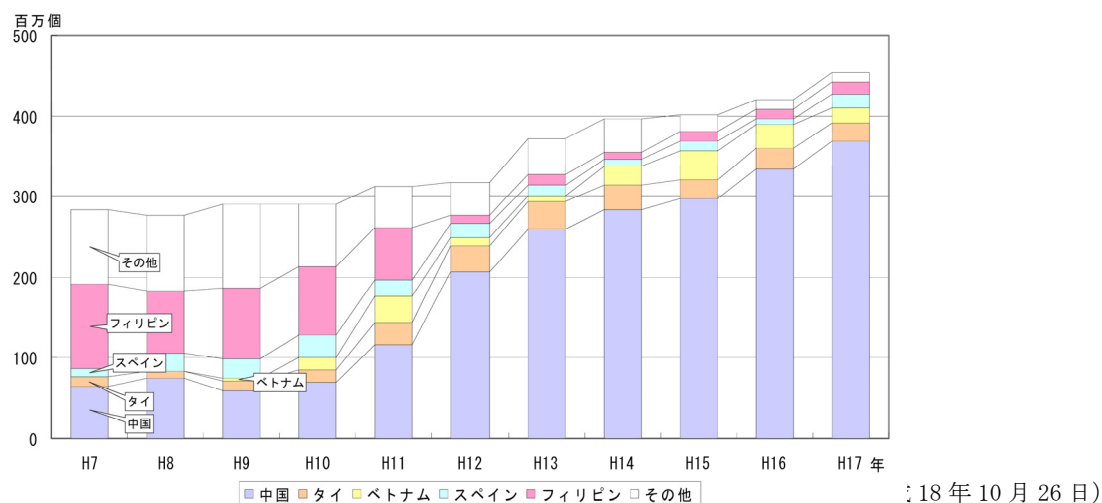


図 5.5-38 国別輸入数量推移

なお、日本で販売されている使い捨てライターには、(財)製品安全協会の「携帯用簡易ガスライターの認定基準および基準確認方法」適合製品は「SG マーク」（図 5.5-39）が添付されている場合がある。これらの情報は日本語表記のシールで添付されているため、シールが残っている場合は流出国の判別に利用可能である。

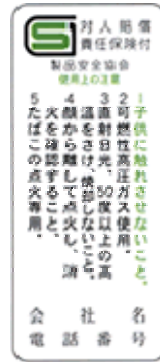


図 5.5-39 使い捨てライターのSG シール

c. 漁業用浮子

(a) 外国語表記の浮子の特徴

本調査で確認された、外国語の表記が見られた浮子の中でも特に数が多く、どの地域でも確認された浮子として、オレンジ浮子、ブルー紡錘型浮子、球型浮子、ブルー豆型浮子が挙げられる。これら主な外国語表記の浮子の特徴を以下に示す。

・オレンジ浮子

形状：刺し網に使われている。

色：オレンジ色が非常に多い。黄色や稀に見られる。

構造：中空で真ん中にて接着されている。

大きさ：サイズは数種類あり、浮力が異なる。

表面に記載の文字等：浮子表面には、漢字やアルファベット、図柄、電話番号等の陽刻がありバリエーションが豊富。「フロート」と日本語で陽刻されたものもある。

量：色が目立つこともあり、頻繁に見かける。

落ちている状態：アバ単独で落ちているものがほとんどであるが、ロープが付いた状態で発見される場合もある。



・ブルー紡錘型浮子（丸／角）

形状：紡錘型、両端が丸いタイプと、角ばっているタイプの二種類

色：青～水色

構造：プラスチック中空構造。

大きさ：長さ 12～13cm 程度

表面に記載の文字等：陽刻のバリエーションが豊富。地名、図柄、耐圧水深などが陽刻されている。「浙江」、「温州」など、浙江省温州市を意味すると思われる文字が多く確認される。また、中国語でプラスチックを意味する「塑料」もみられる。

量：丸型は比較的頻繁に見られる。角型は丸型よりも少ない。

落ちている状態：アバ単独で落ちているものがほとんどであるが、ロープが付いた状態で発見される場合もある。



・球型浮子

形状：プラスチック、球型。耳がついており紐をかける穴が開いている。

色：黄色が多く見られる。

構造：一体成形ではなく、真ん中で接着してある。

大きさ：直径が 6～7cm 程度の物が多く見られる。

表面に記載の文字等：ハングル文字（意味は不明）

落ちている状態：アバ単独で落ちているものがほとんどであるが、ロープが付いた状態で発見される場合もある。